

◆『校種間（保・幼・小）連携による子どもの生活習慣づくりの取組』

幼・保・小連携による子どもの生活習慣づくり

～親子の心をつなぐ「家読」を中心にして～

佐賀県伊万里市立黒川小学校

1 佐賀県伊万里市、黒川小学校の紹介

伊万里市は北部九州の西部に位置し、古くは「古伊万里」の積出港として栄え、近年では造船やI C・木材関連等の産業が発展している。

黒川小学校は、伊万里市の北西部、海と山に囲まれた黒川町にある学校である。春には夢みさき公園への遠足、夏にはイマリンビーチでのサンドアートフェスティバル、遠泳大会等、豊かで美しい自然環境を生かした行事がある。



2 「家読」推進の目的・経緯

(1) 「家読」の目的

*親子の会話がはずむ心の居場所づくりと読書習慣づくりを推進しながら、家族の絆を深める。

(2) 伊万里市における「家読」推進の経緯

伊万里市は、子どもたちのいじめのない豊かな心をはぐくむことを重点目標に「思いやりの心あふれるまちづくり」「読書で輝くまちづくり」を目指しており、それを実現させるために市民を対象に「子どもの読書」推進パンフレットを作成し、親子の心をつなぐ『家読』を通して家族の絆を深めていく事業に取り組んでいる。

【伊万里市の教育】 *重点課題「家庭教育力の向上」
ほかほか家庭づくり～3つの視点から～

①親子の絆を深める ②子育て不安を解消する ③生活習慣を身に付けさせる

(3) 黒川町における「家読」推進の経緯

平成10年から「黒川町親と子との読書会」のメンバーを中心に町内の小・中学校で読書推進活動に取り組んできた黒川町は平成19年に伊万里市の「家読」のモデル地区に指定された。黒川町では、町内の小・中学校、幼稚園・保育園、ボランティア、子ども会育成会、区長会等からなる「家読連絡協議会」を組織し、市民図書館とも連携を図りながら「家読」推進運動を展開している。

【黒川公民館での家読連絡協議会】



幼・保・小を中心に内容の検討

【家読推進拠点の伊万里市民図書館】



移動図書館「ぶっくん」で市内を巡回



3 「家読」を中心とした取り組みの実際【黒川小学校】

(1) 「ストップ・ザ・見放題」&「家読」運動

「テレビ消し、早寝・早起き・朝ごはん」運動の一環として、「ストップ・ザ・見放題」&「家読」運動を展開している。

*各月の1日がノーテレビ・ノーゲームデー *各月の第1日曜日が家読の日

ノーテレビデーのテレビ視聴時間や家読達成者、実施者数、家読の平均冊数、保護者の意見や感想等を毎月、調査・集計し、調査結果を報告しながら家読を推進している。



楽しく家読

「本を読む ぼくのまわりに かぞくのわ」（家読標語）



親子みんなで家読

(2) 親子ふれあい読書（家読）

- ① 大人が子どもに読み聞かせをする。
- ② 大人と子どもそれぞれに好きな本を読み、後で会話をする。
- ③ 一冊の本を交代で読み合う。
- ④ 昔話を紹介する。

「読みますよ」家族が輪になり 円になる（家読標語）

(3) ボランティアグループ「おはなしどんどろ」による読み聞かせ

月2回（第2水曜日 1年・2年・3年、第3水曜日 4年・5年・6年）

(4) 「黒小っ子の約束」推進運動 ①あいさつ ②テレビ・ゲーム1時間以内 ③家読

(5) 幼・保・小の連携

- ①黒川町家読連絡協議会 ②幼・保・小連絡協議会 ③園訪問・学校訪問の実施
- ④保護者、おはなしボランティアによる読み聞かせ ⑤移動図書館「ぶっくん」巡回

4 成果と課題

(1) 「家読」を中心にして親子の会話はずむ心の居場所づくりと読書習慣づくりを推進してきた結果、ほほえましい親子の光景が目につくような感想が多く寄せられるようになり、家庭における基本的な生活習慣づくりにつながっている。

ふれあい読書以来、寝る前には必ず「お母さん、今日、本を読もう！」と子どもから声がかかるようになりました。本人だけでなく、弟たちも言うようになりました。本の力ってすごいなと思います。市民図書館に行く回数も増えました。【保護者の感想】

(2) 「ストップ・ザ・見放題」&「家読」運動は、毎月、アンケートの集計結果を家庭に報告しながら定着を図ってきたことにより、「本人がしっかり自覚でき、家族みんなで実行できました」などの声が家庭から多く寄せられるようになった。

今後、更に幼・保・小連携して家読推進に取り組むとともに、育ちと学びの連続性を意識しながら子どもの基本的な生活習慣の定着を図りたい。

5 問い合わせ先 伊万里市立黒川小学校 TEL: 0955-27-0010 FAX: 0955-27-0014